

各メディアのご紹介



脱炭素時代へ変革のヒントを探る

温暖化ガスの排出削減を成長機会につなげる「GX（グリーントランスフォーメーション）」は今や世界中の企業が向き合う課題となりました。変革のカギは、新たな規制の影響を先読みし、脱炭素に関わるテクノロジーや新ビジネスの潮流を知ることです。

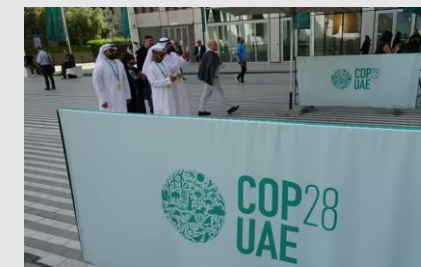
NIKKEI GXは、国内外の企業の先進的な取り組みや脱炭素に向けた政策や制度を解説していきます。

紙面や電子版だけでは伝えきれなかった専門情報で、GXに携わる方の事業判断を支えます。

NIKKEI GXのコンテンツ

最新動向

写真で読むCOP28 「安いニッポン」と脱炭素の先端技術



ドバイは12月でも日中の気温は30度近くの高温になる。ひまわりのように、円盤状に太陽光パネルを敷き詰めた巨大なタワーが「サステナビリティパビリオン」にずらりと並んでいた...

企業戦略

GXリーグ、560社に減少 JAL・ローソンなど離脱



経済産業省が主導し企業が自主的に参加する脱炭素の取り組み「GX（グリーントランスフォーメーション）リーグ」参画企業が560社超で固まった。1月末時点で「賛同」を表明していた679社のうち...

規制・政策

ISSB、炭素クレジット計画の開示要求 報告期限3カ月に

サステナビリティ開示基準のポイント

- 気候変動がリスク・機会になる資産・事業の比率
- スコープ1~3の温暖化ガス排出量
- 社内炭素価格
- 気候変動と関連付けた役員報酬
- 利用予定のカーボンクレジットの情報

IFRS財団傘下のISSB（国際サステナビリティ基準審議会）は26日、サステナビリティ開示基準の最終版を公表した。取引先などを含む「スコープ3」の温暖化ガス排出量のほか...